

三郷区 地域協議会だより

平成 31 年 1 月 15 日 発行

発行：三郷区地域協議会
編集：三郷区地域協議会・編集委員
南部まちづくりセンター
Tel. 025-522-8831・Fax 025-522-8832

第 35 号

新年のあいさつ



三郷区地域協議会

会長 山口 典夫

あけましておめでとうございます。地域の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

地域協議会では、「三郷区の人口減少について」を自主的審議事項に取り上げ、委員研修を行うなど、議論を進めております。一口に人口減少と言っても、奥が深く名案が出てこないのが現実であります。

昨年、地域協議会で三郷区に転入して来られた方とお話をする機会を設けました。その中での一例を紹介しますと、どの地域でも言えることですが、若い人達が他の地域に出て行かないような方策について地道に取り組むことが必要とのことでありました。また、皆さんのお話では、この地域は住環境が良い地域であるとのことであり、今後の議論を進める上でのヒントになると感じました。

今年も、互いに支え合い、誰もが住んでいてよかったと思える地域を目指して委員と活動してまいりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。結びに、皆様方のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。

■ 三郷区地域協議会の審議状況 ■

地域で人口が減少している原因について委員間で意見交換

11月27日の地域協議会では、「三郷区の人口減少について」の自主的審議の中で、人口減少がどのような原因で起きているか、委員で意見を出し合いました。委員からは、「就職口が限定されるのも原因ではないか。若い人は希望する職に就くために都会に移ってしまう。」「お互いに気を使うため、親と子ども夫婦で別々に暮らすことが当たり前になっており、子ども夫婦が新興住宅地に家を建てたという話をよく聞く。」といった話のほか、少子化や農業離れについて意見が出されました。出された意見をもとに、今後地域協議会でどのようなことに取り組むか、協議していく予定です。

また、三郷区地域協議会と同じように人口減少の抑制について議論している高士区地域協議会と意見交換会を実施することが決まりました。



▲11月27日の地域協議会の様子

(裏面につづく)

三郷区に転入された方との座談会を実施

12月20日の地域協議会では、引き続き「三郷区の人口減少について」の自主的審議を進める中で、ここ数年内に三郷区に転入された3名の方との座談会を実施し、「三郷区に転入された動機」、「三郷区に住んでいて良かった点・悪かった点」などについて、お話を伺いました。

皆さんからは、「団地でないことが魅力。転入前は400世帯ある町内に住んでおり、知らない人が多かったが、今は70世帯ぐらいの町内で、まとまりがあり雰囲気もよい。」「買い物は近くでほとんど済ませられるため、立地条件はよい。」「自然環境がとても良い。河川敷から眺める妙高山はとてもきれい。」「子どもの数が少ないため、子ども同士で遊ぶのに親が付き添って違う町内を行き来しなければならず、遊ぶ日が限られる。」「三郷区は農業中心だが、『えさらい』には無理に参加しなくてよいなど、非農家の方への配慮を感じる。」といった話がありました。

お聞きした内容を参考にし、今後も議論を深めていきます。



▲12月20日の地域協議会の様子

※ 三郷区の魅力あれこれ ※

地域協議会委員が考える三郷区の魅力を紹介します。

「私が思う三郷地区の魅力」

伊藤 善一（西松野木）

三郷地区の魅力は、人と人とのつながりが深いことです。

それは、地区行事や学校行事などを通じて、世代関係なく協力し助け合えるからです。

もう一つは、自然豊かなことです。田畑が広がり、そこでは美味しいお米がとれ、妙高山とともに見る景色がとても綺麗なところなんです。

これが三郷地区の数ある魅力の二つです。

「安心・快適 住みやすい三郷区」

尾崎 祐三（長者町）

全国814市区「住みよさランキング」の評価によれば、上越市は全国で152位。住居水準充実度、安心度の評価は高いが、快適度、富裕度が低いとのこと。三郷区は、妙高・火打・南葉の山々を望み、風光明媚で四季の移ろいを五感で感じる自然豊かで、新幹線駅や高速道路、大商業施設や総合病院も身近にある、快適で安心で住みやすい地区だと私は感じる。



南部まちづくりセンター

〒943-0892

上越市寺町2丁目20番1号

（上越市福祉交流プラザ 3階）

TEL 025-522-8831

FAX 025-522-8832

E-mail nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

